

めいわ かわら版



事務 **渡辺 友美**

2 002年(平成14年)、社会福祉法人明和会へ入職した渡辺友美さん。現在は、「ワークスつばさ」と「ことり保育園」の施設会計を担当。堅実な仕事ぶりで周囲から厚い信頼を得ています。3人のお子さんを持つお母さんとして、家庭と仕事を両立させてきた渡辺さんに、日々心がけていることや今後の目標を伺いました。

「お仕事内容について教えてください。」

施設の収支や決算といった会計業務に携わっています。予定を立てて調整しながら取り組み、毎朝、「今日中にこれを仕上げよう」と綿密に確認することも欠かせません。担当しているのは私一人ですが、施設長や事務部長と連携しながら、期日厳守をモットーに臨んでいます。

「出産と育児を経て、働く意識に変化はありましたか。」

小学2年生と5年生、そして中学2

けてもらいながら家事をすることで両立ができていると思っています。

「最後に、今後の目標をお聞かせください。」

職員の方は皆温かく優しい方ばかり。居心地がよく安心して働けることに日々感謝しています。自分自身もさりげなく人を支えることができるとそんな人になりたいと思っています。

オンオフうまく切り替えながら、自身がすべきことに真摯に向き合ってきた渡辺さん。お子さんたちが頼もしく育っているのも、母の懸命に働く姿を見ているからに違いありません。渡辺さんの今後さらなる活躍も楽しみです。

「仕事と家庭、両立の秘訣を教えてください。」

家事については、時に手を抜くことも必要だと思っています。本当は今しなくてもいいのに、ついこだわってやっていることもあります。例えば、私の場合なら掃除。汚れていなくとも、必ず毎日しようと決めていました。ところが、家事の時間を見直した時、「本当に毎日すべきなのだろうか」と疑問に感じたのです。以後、状況に応じて行うことにしました。また、うちは日頃から洗濯量が多いのですが、最近では、子どもたち自身で洗濯しておいてくれることもあります。成長を感じるとともに、このまま自立心が育っていつてくれればと願います。親がいなくても、わりと自分たちで家事をしてくれるものです。特に食事はそう。おなががすくと、自分たちで工夫しながら作って食べていますね。

結果的に家庭のことは、私一人で背負っているわけではなく、主人と協力しながら育児をし、子どもにも助

で、いかに仕事を効率よく終わらせようかと考えて取り組むようになりました。

「ある時期にはパート職員として勤務されていたと伺いました。」

長女がミニバスケットボールのスポーツ少年団に所属していた期間、パート勤務をさせてもらうことにしたのです。練習の送迎や遠征の付き添いなど、5年間全力で娘をサポートしました。正職員の時より労働時間が短くなっても、仕事量が減るわけではありません。業務の中に無駄な部分はないか、つぶさに見直しました。

例えば、担当施設との往復時間。普段は本部で事務を行っています。施設は別の場所にあるので届け物や話し合いなど、今まではその都度出向いていました。そこを皆さんにもご理解いただいた上で、可能な限りいくつか用件をまとめて足を運ぶことにしました。おかげで時間の短縮化につながりました。

年生の子どもがおり、育児休暇は3回取得しました。まだ手は離れていませんが、少しずつ子育ては落ち着いてきていますね。

「育休中、子どもと一時も離れることなく過ごして気づいたのは、自分にとって仕事も大切だということ。もちろん、子どもたちのことは愛しくてたまらないです。でも、外に踏み出して仕事に没頭したい思いも抑えられず、職場復帰することを心待ちにしていました。毎日終業後は、やっと我が子に会える心と心を踊らせて保育園に向かったものです。退勤時間ま



拠点 紹介

明和からす森
デイサービスセンター
所長
すずき みちよ
鈴木 美智代さん



明和からす森 デイサービスセンター

今回紹介するのは、明和からす森 デイサービスセンター。
地域に根ざした取り組みを多く行なっている所長の鈴木さんに、詳しいお話を伺いました！

主な業務とメンバー構成について

一日の仕事は利用者の皆様の送迎から始まります。健康チェックの後、個別にリハビリや入浴を行ない、全員で体操をします。お昼ごはんを食べた後はレクリエーションを1時間程度行ない、おやつを食べてほっと一息。施設内のカラオケを使って楽しみながら帰り支度をして、16時半ごろ送り届けています。メンバーは所長1名、主任1名、リーダー1名、介護職員3～4名、看護師1名という構成です。

独自の取り組み

利用者様の刺激になるように、地域の方々や保育園の子ども達と関わる機会を多く設けています。納涼祭では子ども達のためにうちわを作ったり、運動会ではゲームの商品を作ったりと、利用者様が楽しみながら行事に参加できるように工夫しています。残念ながら最近では行事を開催できていませんが、その代わりに多肉植物をポットに植え替えたものを保育園の子ども達へプレゼントしました。

思い出深いエピソード

2013年頃から年末の恒例行事となった鍋パーティーです！地域のシニアクラブの方々や利用者様、そしてスタッフの合計40名程度が参加しました。地元住民の皆様が収穫した野菜や必要な調理器具を持ち寄ってくださって、そのお心遣いに感激いたしました。地元住民の皆様と利用者様の垣根がなく、気軽に関わり合うことができるような、地域に根ざした取り組みであると感じています。

仕事のやりがい

利用者様から「いつもありがとう」というお言葉をいただいたときに、やりがいを感じます。また、高齢の方が多く通われているため、利用者様がお亡くなりになることもあります。そんなとき、ご家族の皆様から「最期をここで過ごすことができよかったです」と声をかけていただいたときは、思わず涙がこぼれました。いただいたお言葉や共に過ごした時間が、これからも頑張ろうという原動力につながっています。

今後の目標

現在は月曜日から金曜日まで利用者様を受け入れているのですが、土曜日も運営していきたいと考えています。少しでもご家族の皆様への負担を減らせるように、そして利用者様と穏やかな時間を共有することができるように、スタッフを増員して対応していければと思います。

強み

重度の認知症の方を積極的に受け入れているところが特色であると感じています。程度の差はありますが、40名の利用者様のほとんどの方が認知症です。認知症の方が増加している現状を考え、少しでも在宅で生活している皆さんの手助けができれば、という思いで受け入れを始めました。

職場のココが好きです！

職場の「好きなおとこ」を皆さんにお伺いするこの企画。皆さんの知らない魅力が見つけれられるかもしれません。
今回は、明和からす森デイサービスセンターの皆さんにお伺いしました！

質問事項

- ①職場の「好きなおとこ」を一言で教えてください！
- ②その理由は何ですか？



すずき みちよ
鈴木 美智代さん

所長

- ①「他者を思いやる気持ち」を持っているところです。
- ②相手の業務内容を理解した上で、困っているようであれば、すかさずフォローを入れるなど、気の利く人たちが多くいます。日頃より、職員間同士のコミュニケーション、目配り、気配りが図れています。



おぐり しげこ
小栗 重子さん

看護師

- ①「明るく楽しく仕事ができるところ」です。
- ②周りのスタッフが快く接してくれて、分からない点もしっかり教えていただけることです。



やまざき ふみえ
山崎 文恵さん

看護師

- ①「明るくて元気なおとこ」です。
- ②年齢は30～60代と様々ですが、年齢差を超えて仲良く明るく元気に働いています。



かとう ゆき
加藤 由貴さん

介護員

- ①「明るくてチームワークを大切にしているところ」です。
- ②利用者様に対しても、職員に対しても同様に気配りができ、小さな変化にも気づくことができる職員ばかりです。常に相手をおもいやり、チームワーク良く働くことを一人ひとりが心がけているため、働きやすい職場です。



はちや さとみ
八谷 聡美さん

作業療法士(OT)

- ①「WomanPower!」
- ②スタッフ全員が女性で、利用者様に対して優しく状況に応じたサービスを提供しています。人も環境も明るく元気で日々成長できる職場です！女性の力はハンパない！



おおば まさこ
大場 雅子さん

介護員

- ①「笑顔でいられるところ」です。
- ②明るい人が多く楽しく仕事ができます。また、皆が利用者様のことをよく考えています。



うちやま としこ
内山 俊子さん

介護員

- ①「笑顔が絶えないところ」です。
- ②仕事が大変な面もありますが、自分自身が笑顔で接することにより、同僚、利用者様もお互いに楽しく1日を過ごすことができ、大変働きやすいです。



えんどう ゆり
遠藤 由理さん

相談員

- ①「明るくて元気なおとこ」です！
- ②皆良い方たちばかりで、何でも言い合いながら明るく楽しく働いています。笑顔が絶えない職場だと思います。



ますだ ゆきこ
増田 由紀子さん

相談員

- ①「皆が笑顔であるところ」です。
- ②スタッフ皆が元気で笑顔です。チームワークもよく、皆一生懸命なので「自分も頑張らなくては……」とモチベーションが上がります。



かとう のりこ
加藤 宜子さん

介護員

- ①「地域密着であるところ」です。
- ②困ったとき、お互いに助け合うことができます。